

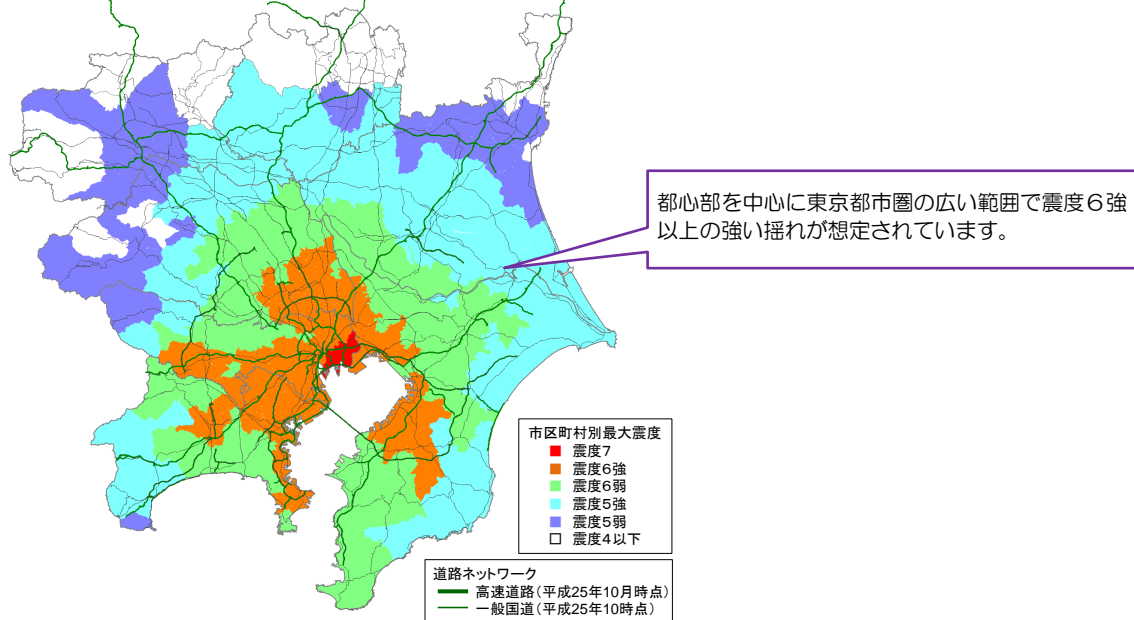
◆活用事例④：大規模災害が物流に及ぼす影響の分析へのデータ活用

東京都市圏物資流動調査では平時に物資がどこからどこへ流れているかを調査しています。そのため、大規模災害による被害が懸念されるエリアを想定し、当該エリアに発着する物資量を集計することにより、大規模災害が物流を通じて地域に及ぼす影響の分析が可能です。

<大規模災害による被害が懸念されるエリアに発生・集中する物流量の分析>

- ・首都圏に大きな被害をもたらすことが懸念される首都直下地震の市町村別の最大震度をみると、都心部を中心に東京都市圏の広い範囲で震度6強以上の強い揺れが想定されています。
- ・東京都市圏物資流動調査のデータを用いると、首都直下地震による強い揺れが想定されている市町村で平時に発生・集中している物流量を集計できるため、地震発生時に影響を受けることが懸念される物流量を地域別に分析することが可能です。

●首都直下地震（都心南部直下地震）の市町村毎の最大震度



出典：都道府県・市町村毎の最大震度の表（中央防災会議首都直下地震モデル検討会；内閣府）

●東京都市圏の貨物発生量、トラック発生台数、貨物集中量、トラック集中台数の首都直下地震（都心南部直下地震）の最大震度別構成割合

